

国際フォーラム（CIF）でアメリカの高校生と討論しました！

4月16日（日）に、橋本果林さん（高3-2）、小林ひよりさん（高3-3）、溝口理子さん（高3-7）、安野美乃里さん（高2-2）の4名が、米国ミドルベリー国際大学院モンレー校ジェームズ・マーティン不拡散研究所主催のCIF（クリティカル・イシューズ・フォーラム）にオンラインで参加しました。

アメリカからは6校62名、日本からは5校（本校のWWL連携校である広島女学院をはじめ、開成、創価、関西創価）21名の高校生が参加しました。軍縮問題に関する国連事務総長諮問委員を務めたニューヨーク州立大学上級研究員のDr. Togzhan Kassenovaの基調講演では、カザフスタンにおける旧ソ連による核実験の影響と思われる先天異常や成長障害の実態が紹介されました。「こうしたあまり知られていない核の悲劇を、国や世代を越えて多くの若者が知ることは意義深いことです」とのコメントに賛同しました。代表5名によるパネルディスカッションには小林さんが参加し、「文化や価値観が違ってても、核兵器廃絶に向けた強い思いは変わらない。若い世代が引き継いでいくことの重要性について言及されることが多いが、戦争被害を受けた方がそれを本当に望んでいることがわかった」と語ってくれました。参加者からは、「平和構築のためには、無関心が一番いけない。知識がないと平和につながらない。まずは知る機会に参加することが大切。そうした機会を提供する側で自分も活躍したい」などのメッセージがありました。

4名は外務省のユース非核特使として参加し、主催者から個人と学校に「優秀賞」と「修了証」をいただきました。



Middlebury Institute of
International Studies at Monterey
James Martin Center for Nonproliferation Studies



CRITICAL ISSUES FORUM 2023 SPRING STUDENT CONFERENCE

APRIL 15, 2023, 4:00 - 6:30 PM PDT,



Bringing Intersectional Approaches to Youth Education

Keynote Speaker:
Dr. Togzhan Kassenova
Author of Atomic Steppe



ATOMIC
STEPPE

HOW KAZAKHSTAN
GAVE UP
THE
BOMB

Photo credit: <https://www.togzhankassenova.com/>

